

おいしさの中心、安心の先頭へ。

2023年3月期 第3四半期  
決算補足説明資料



LIFEDRINK COMPANY

2023年2月13日



## 本資料の取扱い上の注意

本資料は、株式会社ライフドリンク カンパニー(以下「当社」といいます。)及び当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される当社グループの目標、計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済情勢、業界の動向、他社との競争、人材の確保、技術革新、その他経営環境等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なる可能性があります。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社グループがその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。また、業界、市場動向又は経済情勢等に関し、当社グループの見立て、予想、又は試算に基づく情報が記載されていることがありますが、これらは、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の数値はこれらと大きく異なる可能性があります。

他社の財務数値その他の指標は、会計基準又は計算方法の違い等の理由により、当社における対応する指標と直接比較することはできません。

今後の状況の変更等が本資料の内容に影響を与える可能性があります。当社は、本資料を更新、修正又は確認する義務を負うものではありません。本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

株式会社ライフドリンク カンパニー  
2023年2月13日

生産数量\*1

43 百万箱\*2  
(前期比+14%)



売上高

223 億円  
(前期比+14%)



営業利益

24 億円  
(前期比+31%)



## 業績サマリー:2023年3月期 第3四半期累計

### 増収 ・営業増益

- 既存工場の生産能力増強投資に伴う生産数量増加及びそれに対応した販売先確保により、増収
- 原油価格高騰及び円安進行に伴う原材料費や水道光熱費の増加を、増収及びコスト削減/生産性向上でカバーし、営業増益
- 栃木工場新倉庫は物流費効率化/損益に寄与

### 税金関連費用

- 前期(2022年3月期 第3四半期)は、税効果会計の影響で一過性の利益を計上
- 一過性の利益計上の影響を除いた調整後当期純利益では前期比+33%の増益

### 業績/配当予想 の上方修正

- 3Qまでの実績が当初想定を上回っていること、及びニットービバレッジの子会社化に伴う連結決算への移行などを踏まえ、業績予想を上方修正(営業利益+4億円/+15%)
- 業績予想の上方修正を踏まえ、配当予想も上方修正(+1円/株)

## 業績:2023年3月期 第3四半期累計

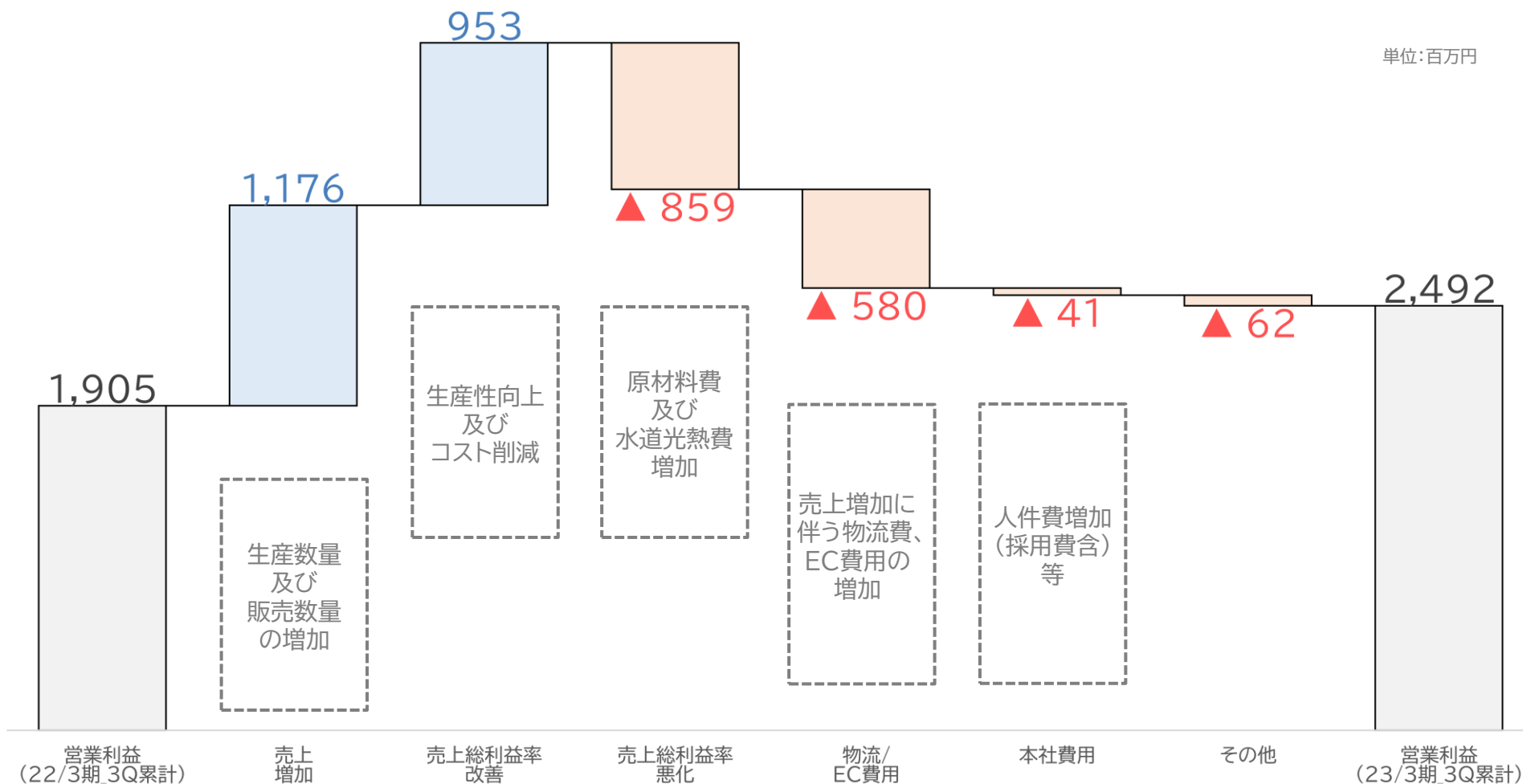
自社飲料の増産(+14%)が寄与し、27億円の増収。各種コスト増を増収やコスト削減施策でカバーし、売上成長を上回る営業利益成長(+31%)を達成

単位:百万円	22年3月期 (第3四半期累計)	23年3月期 (第3四半期累計)	増減 (対前期)	前期比
売上高	19,547	22,301	+2,754	+14%
営業利益 (率)	1,905 (9.7%)	2,492 (11.2%)	+587 (+1.4%pt)	+31%
当期純利益 (率) (EPS)	1,721 (8.8%) (152.57円)	1,708 (7.7%) (134.25円)	▲13 (▲1.1%pt) (▲18.33円)	▲1%
<b>【参考】</b>				
当期純利益(調整後*1) (率) (EPS)	1,286 (6.6%) (113.99円)	1,708 (7.7%) (134.25円)	+422 (+1.1%pt) (+20.26円)	+33%
EBITDA (率)	2,624 (13.4%)	3,309 (14.8%)	+685 (+1.4%pt)	+26%

\*1:一過性の上場関連費用及び繰延税金資産計上による利益の影響を調整しています。

# 業績増減要因:2022年3月期 第3四半期累計との比較

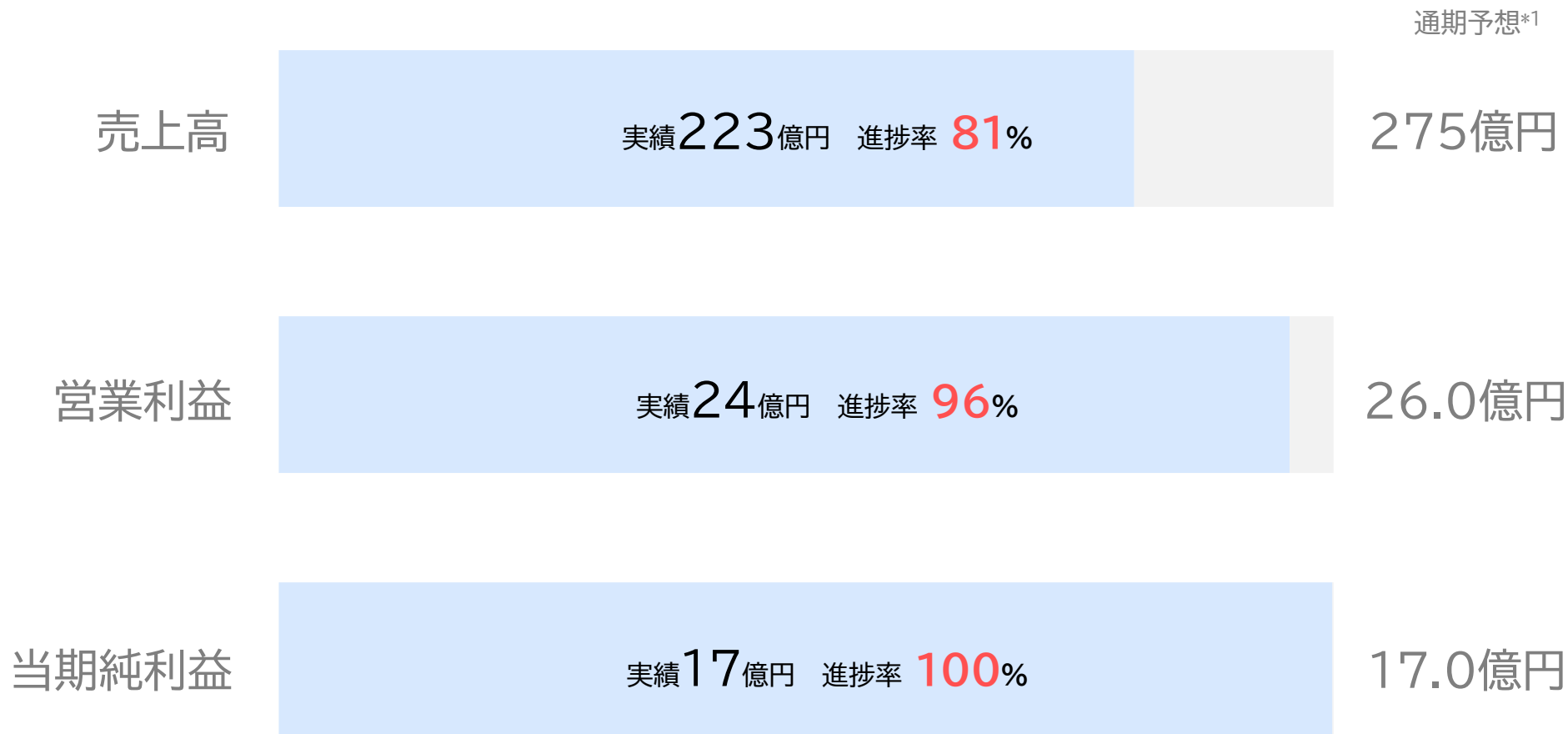
原油価格高騰及び円安進行に伴う原材料費や水道光熱費などのコスト増加を、増収及び生産性向上/コスト削減(省人化/軽量化/栃木倉庫等)でカバーし、営業利益は前期比5.8億円増加





## 業績の進捗:2023年3月期 第3四半期累計

通期予想(期初)に対する売上高及び営業利益の進捗率はそれぞれ81%、96%と順調に進捗し、当期純利益は3Qで達成。足許の業績動向を踏まえて業績予想を修正(P14参照)



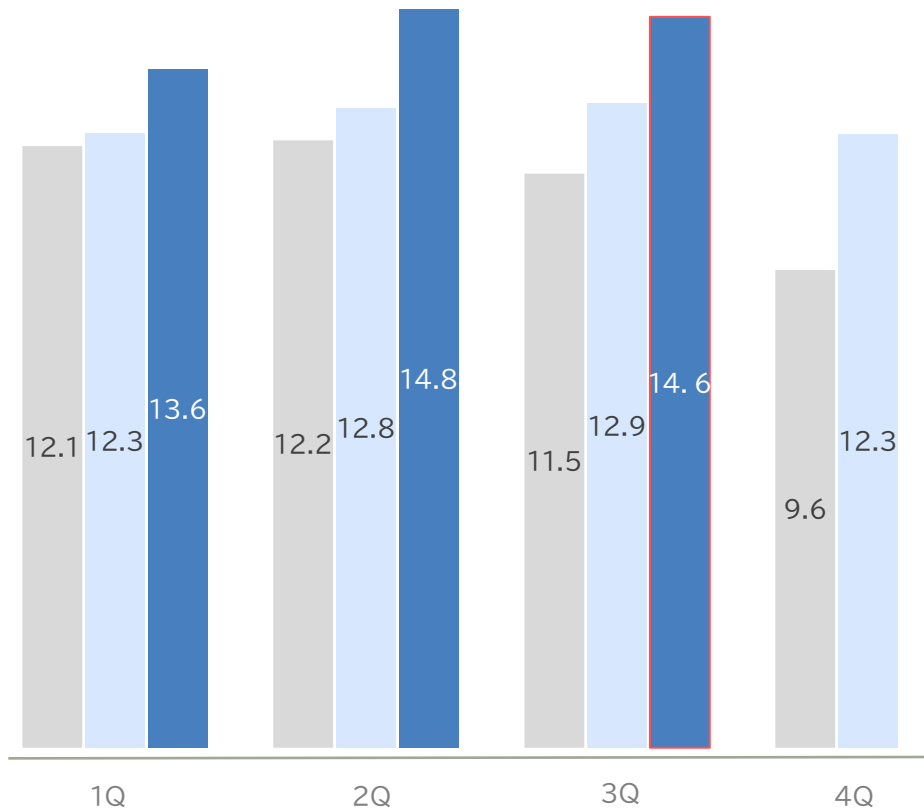
# (参考)四半期業績の推移 ①

■ 2021年3月期  
■ 2022年3月期  
■ 2023年3月期

単位:百万箱\*2

## 生産数量

+1.7百万箱  
(+13%)

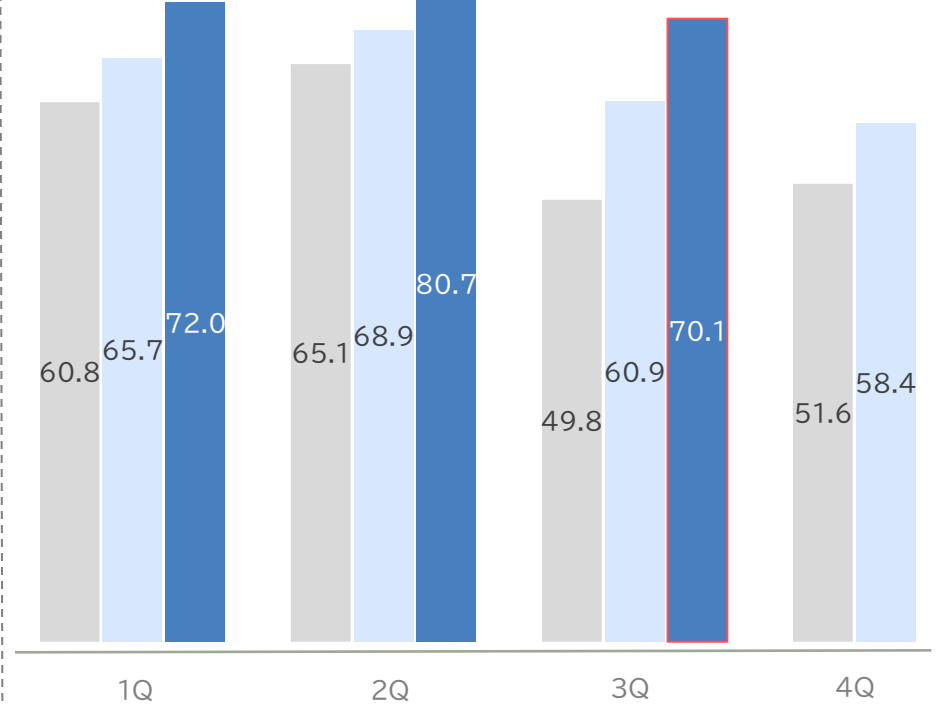


■ 2021年3月期  
■ 2022年3月期  
■ 2023年3月期

単位:億円

## 売上高

+9.3億円  
(+15%)



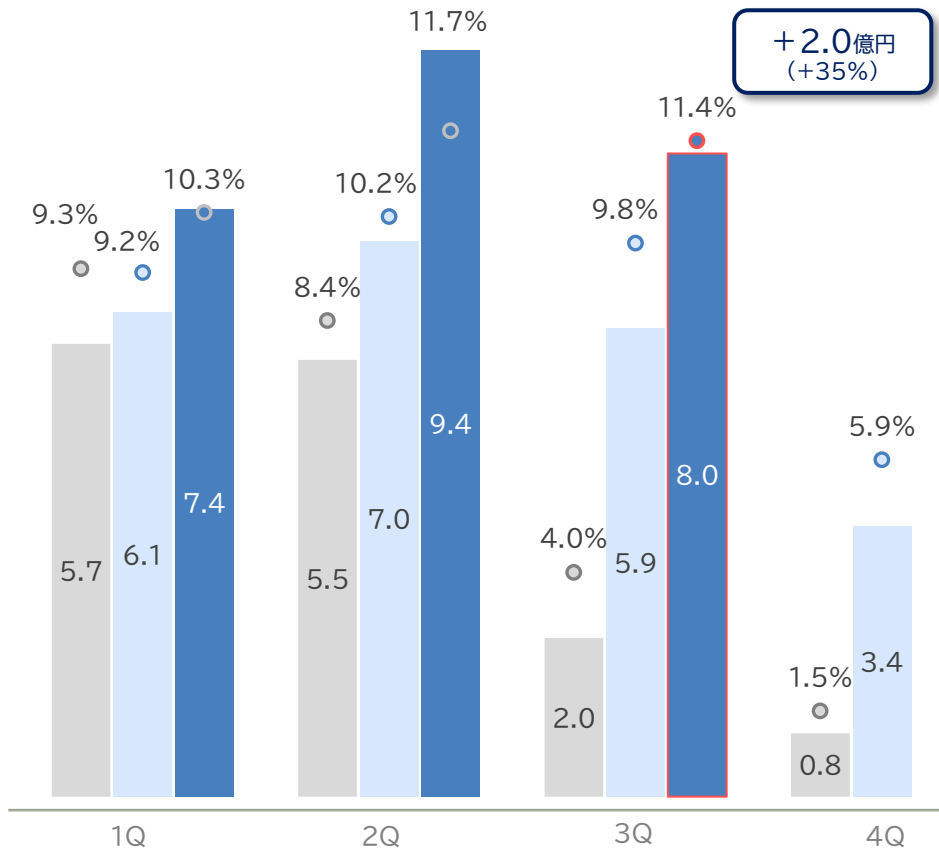


# (参考)四半期業績の推移 ②

■ 2021年3月期  
■ 2022年3月期  
■ 2023年3月期

単位:億円

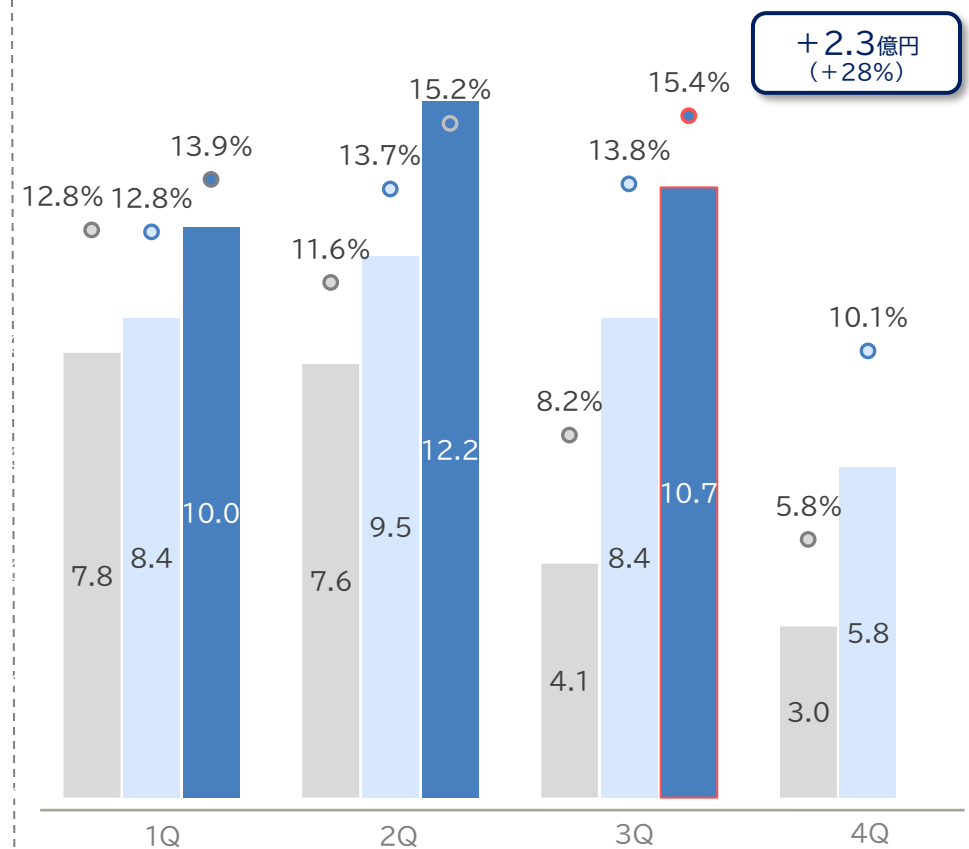
## 営業利益/営業利益率



■ 2021年3月期  
■ 2022年3月期  
■ 2023年3月期

単位:億円

## EBITDA/EBITDAマージン



## 財政状態:2023年3月期 第3四半期

栃木工場新倉庫の建設や富士工場の生産能力増強等の設備投資により、固定資産が増加。  
また、栃木工場新倉庫の建設資金を銀行借入で調達したことにより、固定負債が増加

単位:百万円	2022年3月期		2023年3月期 第3四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減
流動資産	8,923	52%	<b>7,882</b>	47%	▲1,040
(現預金)	3,894	23%	<b>2,279</b>	14%	▲1,614
固定資産	8,210	48%	<b>8,845</b>	53%	+635
(無形固定資産)	60	0%	<b>86</b>	1%	+26
資産合計	17,133	100%	<b>16,728</b>	100%	▲405
流動負債	7,720	45%	<b>5,305</b>	32%	▲2,414
固定負債	3,169	18%	<b>3,774</b>	23%	+605
(有利子負債)	7,713	45%	<b>6,324</b>	38%	▲1,389
負債合計	10,889	64%	<b>9,079</b>	54%	▲1,809
純資産	6,243	36%	<b>7,648</b>	46%	+1,404
負債及び純資産合計	17,133	100%	<b>16,728</b>	100%	▲405

## 成長投資進捗:2023年3月期 第3四半期累計

第3四半期累計で栃木工場倉庫建設に伴う支出を含めて16億円の成長投資を実施。既存工場における生産能力増強投資はおおむね完了。御殿場新工場への投資もスタート

目的	拠点	投資額(百万円)			ステータス
		総額	2022年 3月期 支払額	2023年 3月期 支払額	
増産	尾鷲工場	58	20	-	完了(22/3期)
	栃木工場	135	72	-	完了(22/3期)
	耳納工場	125	125	-	完了(22/3期)
	湯浅工場	270	270	-	完了(22/3期)
	岩手工場	90	60	30	完了(22/3期)
	蔵王工場	190	122	68	完了(22/3期)
	御殿場工場	9,440	8	142	2024年中
増産・省人化	富士工場	553	76	477	完了(23/3期)
省人化	7工場	420	270	64	完了(23/3期)
物流費削減	栃木工場	1,615	714	856	完了(23/3期)
合計		12,896	1,737	1,637	

## 2023年3月期第3四半期トピックス:ZAO SODAの受賞

「強炭酸水 ZAO SODA 500ml 24本」が、楽天年間ランキング2022\*1の「水・ソフトドリンクジャンル賞」(水・ソフトドリンクジャンル第1位)を2年連続で受賞



# 楽天年間ランキング 2022 水・ソフトドリンク ジャンル賞



LIFEDRINK オンラインストア 楽天市場店

## 強炭酸水 ZAO SODA 500ml×24本



Rakuten  
1位  
ジャンル年間ランキング  
2022  
水・ソフトドリンク

# 2023年3月期第3四半期トピックス:ニッソービバレッジの子会社化

2023年1月4日にニッソービバレッジ株式の取得(子会社化)が完了。本件の投資資金22億円は銀行借入にて調達

## 会社概要

基本情報	
会社名	ニッソービバレッジ株式会社
住所	富山県下新川郡朝日町平柳 500 番地
設立年月	1997 年5月

## 強み

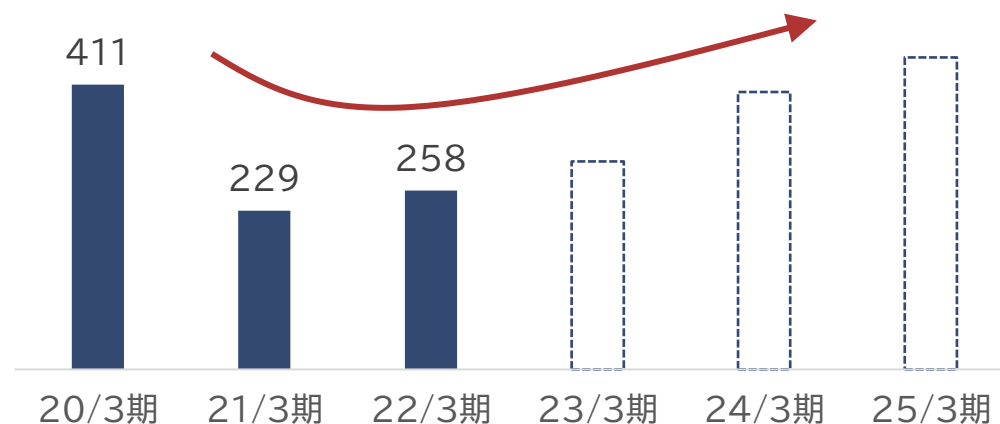
- 1 多品種生産  
〔数百種類の飲料の開発・生産が可能〕
- 2 豊富な資源  
〔黒部川が育んだ豊富な地下水と2.5万坪の広大な土地〕

## 投資/業績

### 投資/資金調達



### EBITDA推移 (百万円)



## 業績予想の修正:2023年3月期

各種コスト負担増はあるものの、3Q累計実績が当初想定を上回ったこと及びニットービバレッジ子会社化に伴う連結決算への移行を踏まえ、業績/配当予想を上方修正

単位:億円	修正前 (単体)	修正後 (連結)	増減	(参考) 3Q累計 実績
売上高	275	296	+21	223
営業利益	26	30	+4	24
(率)	(9.5%)	(10.1%)	(+0.7%pt)	(11.2%)
当期純利益	17	20	+3	17
(率)	(6.2%)	(6.8%)	(+0.6%pt)	(7.7%)
(EPS)*1	(135.45円)	(156.67円)	(21.22円)	(134.25円)
EBITDA	37	41	+4	33
(率)	(13.5%)	(13.9%)	(+0.4%pt)	(14.8%)
(DPS)	27.00円	28.00円	+1.00円	

### 修正のポイント

- 第3四半期累計実績は当初想定を上回る結果に
- 第4四半期の見通しを更新
  - ✓ 売上高: 期初予想を上回る需要拡大の影響を反映
  - ✓ 営業利益: 原材料費や水道光熱費が増加するものの、売上増加及びコスト削減でカバー
  - ✓ 特別損益: ソース事業の事業譲渡に伴う特別利益を計上
- ニットービバレッジ見込を反映
- 配当額: +1円/株の増配

参考)

ライフドリンクカンパニー

会社紹介



## 会社概要

当社は大阪を本社所在地とし、「水」「お茶」「炭酸飲料」の製造販売を行うドリンク・リーフ事業を主たる事業としています

会社名	株式会社ライフドリンク カンパニー (英:LIFEDRINK COMPANY, INC.)
代表者	岡野 邦昭
創業	1950年(設立:1972年)
本社所在地	大阪府大阪市
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>• ドリンク・リーフ事業－水飲料/茶系飲料/炭酸飲料・茶葉製品の製造・販売</li><li>• その他事業－ソース製品の製造・販売</li></ul>
事業所一覧	<ul style="list-style-type: none"><li>• 大阪本社・東京支社</li><li>• 工場10カ所(飲料＝岩手、蔵王(山形)、栃木、富士(山梨)、尾鷲(三重)、美山(京都)、湯浅(和歌山)、耳納(福岡)、他＝知覧(鹿児島)、茨城)</li></ul>
従業員数	530名(2022年12月末時点)
備考	東京証券取引所スタンダード市場(証券コード:2585) (2021年12月21日東京証券取引所市場第二部*1に上場)

\*1:2022年4月4日より新市場区分における「スタンダード市場」に移行しています。

## 企業理念

当社は「おいしさの中心、安心の先頭へ」を企業理念として、「大切な人に、飲ませたいものだけを」を行動指針として活動しています

おいしさの中心、安心の先頭へ。

赤ちゃんからご高齢の方まで、  
すべての人の“いつも”に寄り添える会社であるために。

株式会社ライフドリンクカンパニーは、  
“おいしさのスタンダード”と“確かな安全性”を追求し、  
朝起きてから夜眠るまで、毎日のあらゆるシーンで  
選んでいただける味と品質を持った商品をお届けしていきます。

## 当社は昨年2022年に会社設立50周年を迎えました

- 1950年に田中たねが創業した緑香園(茶卸業)を田中綜治が法人化し、1972年に**あさみや**を設立



2015年	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLSA Capital Partners Japanがサブアドバイザーを務めるSunrise Capitalと資本業務提携</li> </ul>
2016年	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士名水 足利工場(現栃木工場)を設立</li> </ul>
2017年	<ul style="list-style-type: none"> <li>社名をライフドリンクカンパニーに変更 <b>LIFEDRINK COMPANY</b></li> <li>山忠運輸(運送業)を売却</li> </ul>
2019年	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクアビア(氷事業)を売却</li> <li>太陽光発電事業を売却</li> </ul>
2020年	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽天市場にオンラインストアを開設。「ZAO SODA」を販売開始</li> <li>北勢麵粉(乾麺・インスタントラーメン)を清算</li> </ul>
2021年	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京証券取引所市場第二部*1に上場</li> </ul>
2023年	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニットービバレッジを買収</li> </ul>

創業  
(1950年)

ドリンク事業への進出・事業の多角化

Sunrise Capital  
の資本参加

ドリンク事業への集中

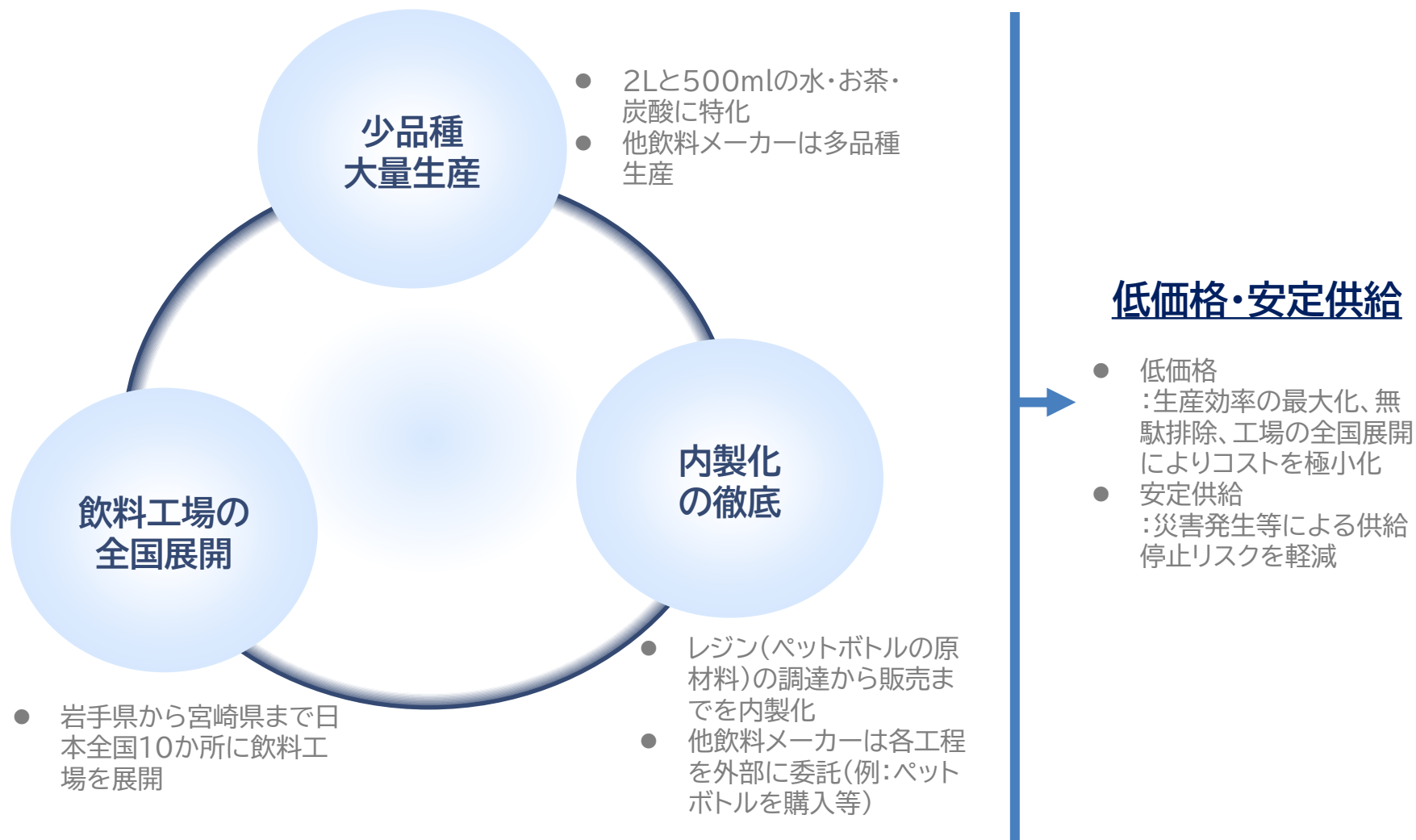
再成長へ

2001年	<ul style="list-style-type: none"> <li>青峰ビバレッジ(現耳納工場)を買収。茶系飲料の製造・販売を開始</li> </ul>	2008年	<ul style="list-style-type: none"> <li>湯浅名水(現湯浅工場)を設立</li> <li>東チョコを買収。チョコレート製品の製造・販売を開始(2015年にチョコレートの製造・販売から撤退、2017年に解散)</li> </ul>
2002年	<ul style="list-style-type: none"> <li>美山名水(現美山工場)を買収</li> </ul>	2010年	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士名水(現富士工場)を設立</li> <li>ポパイ食品工業(現茨城工場)を買収。調味料の製造・販売を開始</li> </ul>
2004年	<ul style="list-style-type: none"> <li>いわて醤油(現岩手工場)を買収(2018年に醤油事業撤退)</li> <li>大黒屋を買収。せんべいの製造・販売を開始</li> <li>静岡工場を新設。缶コーヒーの製造を開始</li> </ul>	2011年	<ul style="list-style-type: none"> <li>北勢麵粉を買収。乾麺及びインスタントラーメンの製造・販売を開始</li> <li>藤洗を買収。冷凍麺の製造・販売を開始(2014年にアクアビアと合併)</li> </ul>
2005年	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクアビアを買収。氷の製造・販売を開始</li> </ul>	2012年	<ul style="list-style-type: none"> <li>山忠運輸を買収。運送業を開始</li> </ul>
2006年	<ul style="list-style-type: none"> <li>尾鷲名水(現尾鷲工場)を設立</li> </ul>	2013年	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北ビバレッジ(現蔵王工場)を買収。炭酸水の製造・販売を開始</li> </ul>

\*1:2022年4月4日より新市場区分における「スタンダード市場」に移行しています。

## 特徴と強み

当社は「少品種大量生産」「内製化」「工場の全国展開」により、「低価格」な飲料を全国に「安定的に」提供するという強みを有しています



## 特徴と強み:少品種大量生産

液種は水・お茶・炭酸飲料、容量は2L・500mlに集中。各工程で発生する無駄の極小化を実現しています



LDC 自然の恵み天然水  
500ml/ 2L



強炭酸水 ZAO SODA  
500ml



LDC お茶屋さんの緑茶  
500ml/ 2L

LDC お茶屋さんの烏龍茶  
500ml/ 2L



彩水-あやみず-  
500ml/ 2L

彩茶-あやちゃ-  
500ml/ 2L

# 特徴と強み:内製化、工場の全国展開

各工程の内製化により主に製造コストを、工場の全国展開により物流コストを低減しています

## 調達から販売までの内製化



## 飲料工場の全国展開

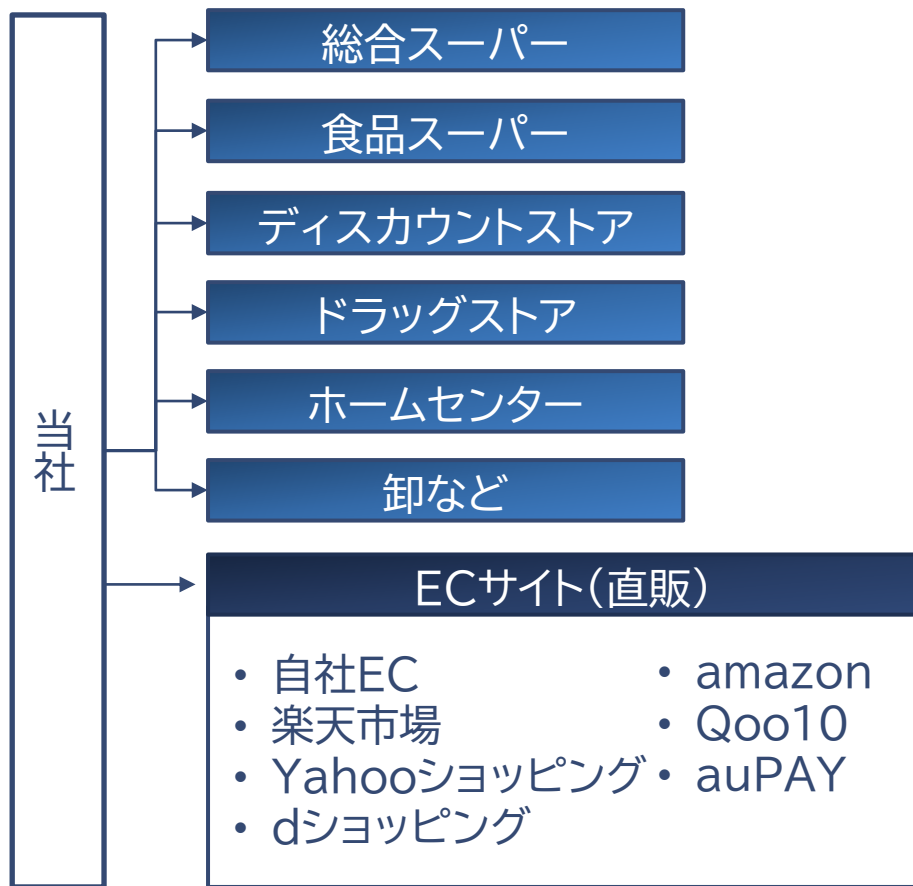


- 岩手工場(岩手県)
  - 蔵王工場(山形県)
  - 栃木工場(栃木県)
  - 富士工場(山梨県)
  - 美山工場(京都府)
  - 尾鷲工場(三重)
  - 湯浅工場(和歌山県)
  - 耳納工場(福岡県)
- 子会社/関連会社
- ニッソービバレッジ(富山県)
  - 生駒名水(宮崎県)

# 当社の販路:小売企業との関係、EC展開

各業態における主要な小売企業との関係を構築。ECは楽天年間ランキング2021の総合1位を獲得する等、順調に拡大しています

## 小売企業との強固なパートナーシップ



## EC展開によるダイレクトチャネルの拡大

主力商品(EC専用)

強炭酸水「ZAO SODA」



楽天年間ランキング 2021\*1  
総合**1**位



ミネラルウォーター「彩水」



緑茶「彩茶」





## 今後の取り組み

当社は生産能力の増強やEC/D2Cモデルへのチャレンジ、生産性の向上により、企業価値向上を図ります

### Max生産Max販売の進化 =生産能力の増強・獲得

- 既存工場の設備更新・改良による生産能力増強
- 新工場建設による生産能力の獲得
- M&Aによる生産能力の獲得

### 生産性の向上

- 物流拠点の見直し
- 業務効率化

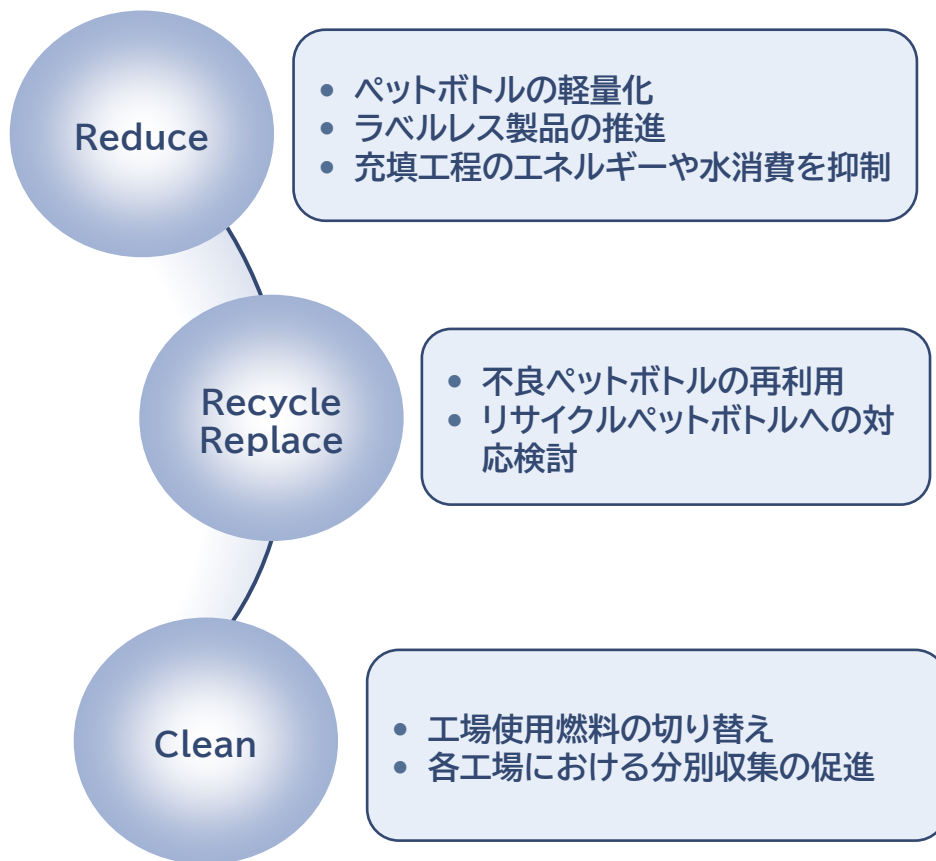
### EC/D2Cモデルへのチャレンジ

- 自社サイトの構築・サービス拡充

# ESGに関する取り組み

ペットボトルの軽量化 / ラベルレス製品への対応に加え、環境対応素材への切替や茶殻の循環型リサイクルモデル構築の検討を進めています

## 環境対応への取り組み



## 茶殻リサイクル



# LIFEDRINK COMPANY